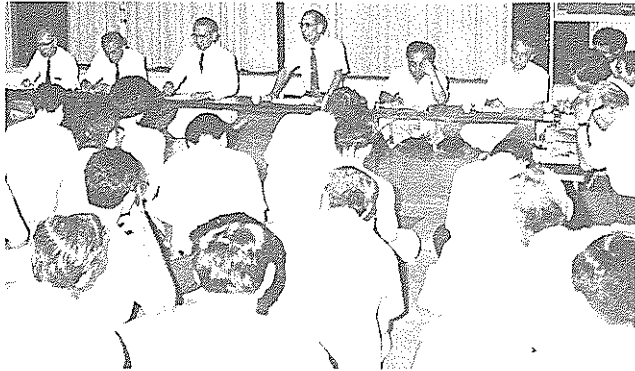


# 白木谷小体育館の 早期建設を

白木谷地区  
八景  
市政懇談会



白木谷小体育館の建設や市政全般について話し合った

公民館事業の一環として、七月二十三日、白木谷公民館（岡崎素輪館長）で市政懇談会が開かれました。市からは小笠原市長、田岡収入役、関係課長らが出席。地元からは約五十人が出席して、白木谷小の体育館建設や支所の廃止問題などについて、約三時間にわたって熱心に話し合いました。

まず、岡崎公民館長が「今日の会を爽りあるものにしてほしい」とあいさつ。続いて小笠原市長が市政の現状を報告した後、話し合

## 話し合いの

内容は・・・

- 白木谷小体育館の早期建設を。  
六十二年度の予算めどは立っていない。敷地造成工事は完了している。引き続き建設に取りかかりたいが、市の極めて厳しい財政状況からみて、ほかの教育施設の整備計画との絡みもあり、時期は決めていない。文部省の基準によると面積は七百九十七平方メートルで、八千万円は必要と思う。国の補助はあるが、文部省の準備基準が一平方メートル十一万円、補助金はその半分となっており、非常に低い。六十三年には無理をすれば順番が来るのではないか。
- 岡豊支所の廃止は慎重に対処してほしい。  
●行政改革を進めている。支所はほとんど機能を発揮していない。老人が増えていくことも不便になることも事実だが、何とか職員を減らして小さな役所にしようと思
- っている。皆さんの意見を聞きながら、基本的には廃止の方針でありたい。
- 公害を伴う企業進出については行政の責任において対応を。  
●公害防止施設を造らない企業は断つて、自然破壊は避けなければならぬが、一概に企業を拒否はしない。公害を伴うことが明らかになれば行政が基準に従って対応する。法律上規制する手だてはないが、公害を伴う企業については行政指導を行い、公害防止施設を造ってもらうという事で、対応していく。養鶏場や生コンについては公害防止施設を造り、将来公害を起さないという事で対処していきたい。公害防止協定案を作り、地域と業者に相談している。
- 八景、小倉地区に水道施設の完備を。  
●白木谷まで来ている水道は岡豊から中継している。それを八京まで延ばすと水が足らなくなる。現在岡豊の第二拡張整備事業を進めている。五年計画で、とりあえず本年、滝本のタンクや配管網の整備を行う。六十四年には八京地区への給水がなんらかの形でできるのではないか。小倉地区については、水源水を取ることができれば、県や国の補助制度等もあるので、白木谷から引くよりは安くできるのではないか。少々の潤度であれば、ろ過装置を取り付けられたい。一度現地を調査させてほしい。
- 公民館専用駐車場の設置を。  
●公民館専用の駐車場がなく、道路が駐車場になっている。できることなら二、三十台ぐらいの専用駐車場がほしいが、地形的に難しい。公民館の西側に旧電々公社中継所の土地を確保して、設計書もできている。面積は八十五平方メートルで、五分分しかとれないが努力したい。
- 通学路に防犯灯の増設を。  
●防犯灯は管理課に設置箇所の要望があれば設置する。その際の補助金は一万円を限度として設置費用の二分の一で、電気料は地元負担となっている。
- そのほか、「市道の整備を」「県道の改良工事促進を県に働きかけてほしい」「小学校の東の川にガードレールの設置を」などの要望も出ていました。また、「二日も早く体育館の建設を」「支所は廃止してほしい」などと重ねて要求、活発に意見を交換しました。

